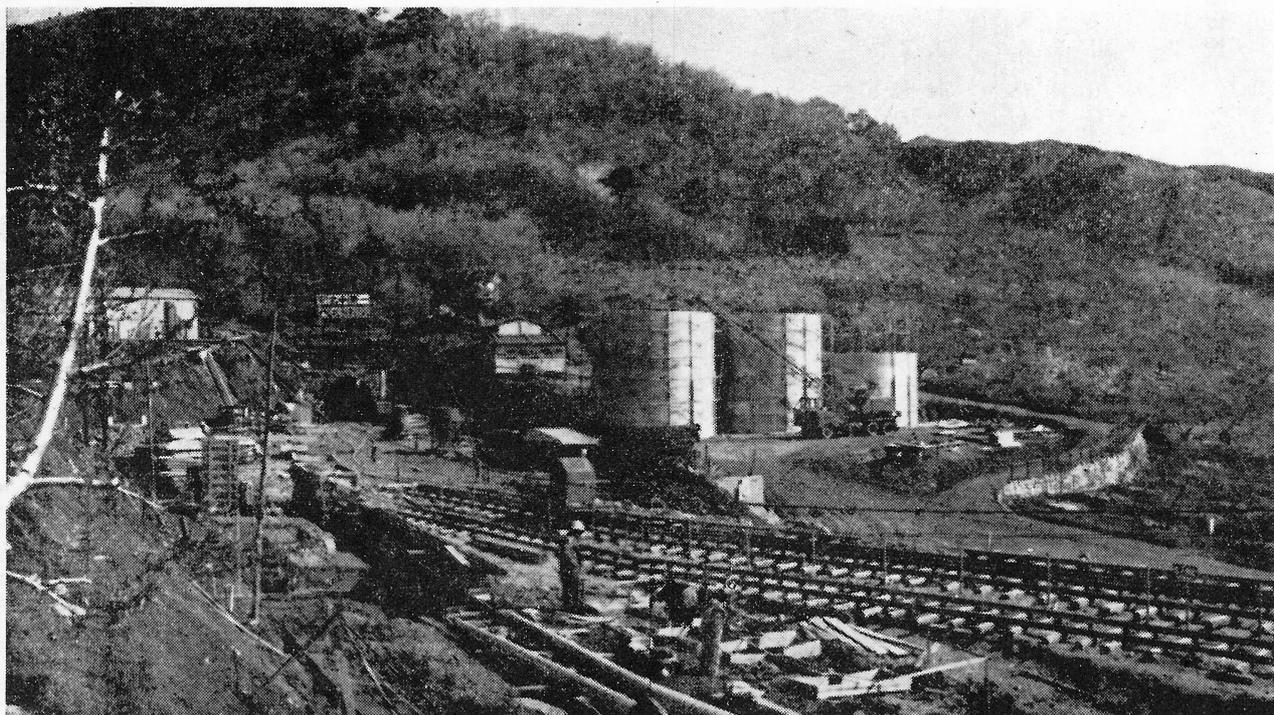


くにみ

企画室だより



— 新幹線蔵王トンネル石母田坑外 —

国見町役場企画室だより

東北縦貫高速自動車道路国見地区建設工事が着手いたします

高速交通化時代に相応しく日本道路公団は東北地方を縦断する高速自動車道路建設工事を昭和44年8月に埼玉県岩槻地区を皮切りに工事を着手しております。

福島県白河市西郷村は昭和45年5月に工事を着手いたし、我が国見町は高速自動車道路確定路線発表が第4次発表区間として、昭和43年8月29日に発表されてそれ以来着工まで、3年7ヶ月有余を経過用地買収調印は昭和46年3月19日20日に終了しておりますが、土地移転登記に手間とり今ここに槌音高く着手の運びとなりました。

その間国見町高速道路対策地権者会々長さんはじめ、各支部の会長さん並びに委員の方々更に地権者の皆さんのなみなみならぬ御努力が功を奏した、結果であると厚く感謝を申し上げる次第でございます。

更に高速道路により、家屋移転された方々36戸の皆さんには家屋新築移転されるまでの間何程か御心労と苦悩の連続であったかと、察するに余り有るものがございます。本当に長い間御苦勞様でした。

高速自動車道路附帯施設仮称国見サービスエリア建設工事も着手します

時速一〇〇キロの高速で走行

すると、自動車のドライバーは2時間運転すると高速道路の執練者はとにかく、不慣れ方は休憩が必要といたします。そこでドライバーの休憩所がサービスエリアなのです。

サービスエリア施設は最も眺望がよいのと景観もよい場所が適地であるのです。施設の内容は食堂、売店、トイレ、ガソリンスタンド、修理工場、無料休憩所の設備がなされるこのサービスエリアは貝田地内に建設されるのです。

仙台から東京行を上り線東京から仙台行を下り線で上り下りともに同じ設備が設置される、この建設については昭和46年3月27日、日本道路公団県高速道路対策室立会のもとに発表され、早速サービスエリアの地権者会が結成されて以来、わずか1年2ヶ月有余の短期間に着手されることは地権者会々長さん、初め委員の方々更に地権者の皆さんの日夜御協力の賜と存じ深く感謝を申し上げますのでございます。

家屋を移転される方も契約後日も未だ浅く何程か御苦勞の連続であると存じます本当に御苦勞さまでございます。

尚高速道路工事も着工となったので、道路用地内に存在する立竹木類工作構造物等の撤去については特段の御協力願います。

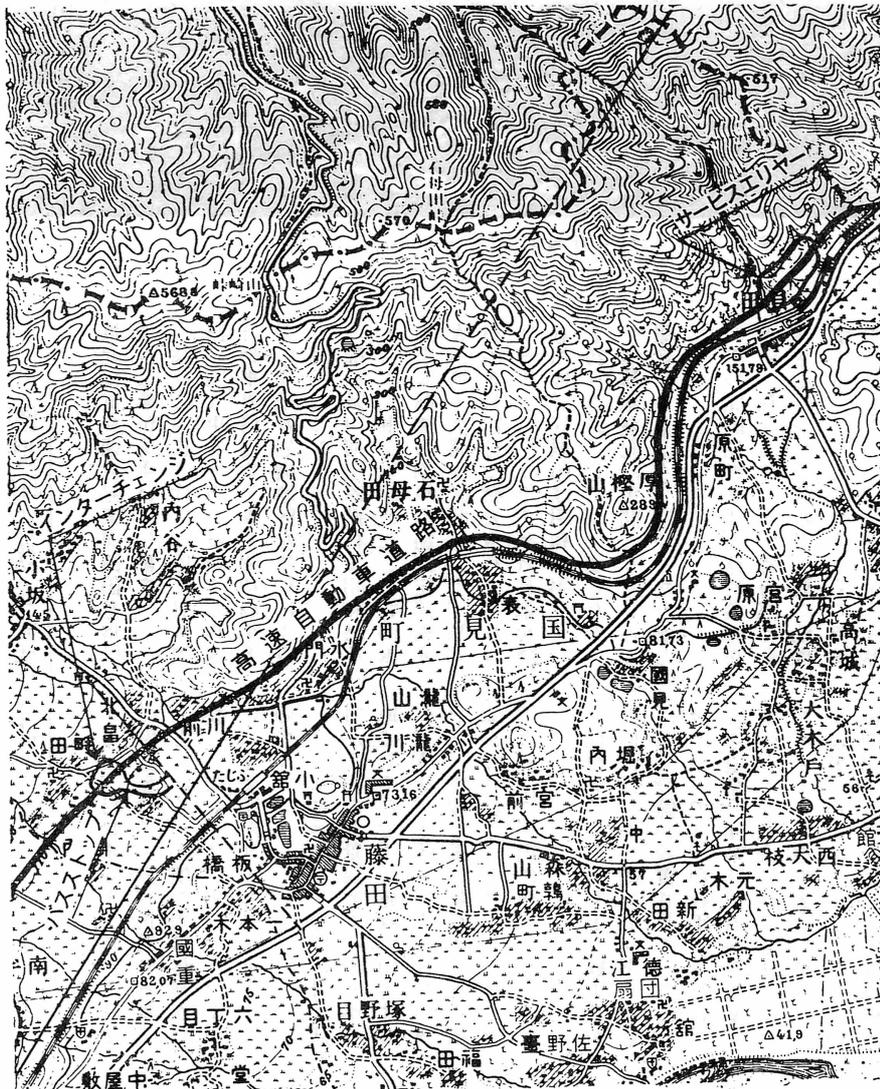
高速自動車国道東北縦貫自動車道路の整備計画の概要

- 1、路線 岩槻—盛岡線
施行命令 昭和41年7月25日
- 2、車線数 岩槻市から鹿沼市間 6車線
鹿沼市から仙台市間 4車線
- 3、設計速度 岩槻市から佐野市間 延長調
- 4、福島県内延長と通過市町村別

(単位km)

発表年月日 関係市町村名	発表年月日				計
	42. 5. 15 1次	42. 11. 6 2次	42. 11. 29 3次	43. 8. 29 4次	
西郷村			7.26		7.26
白河市		2.45	5.28		7.73
泉崎村		3.64			3.64
大矢信村		1.17			1.17
鏡吹町		3.17			3.17
須賀石町		7.10			7.10
賀川市	6.43	0.89			7.32
郡山市	16.78				16.78
本宮町	5.59				5.59
玉村市	5.09				5.09
本松市	3.87	4.80			8.67
達島市		1.99		23.26	1.99
妻折見町				3.02	3.02
桑国町				6.71	6.71
計	37.76	25.21	12.54	40.23	115.74

5、福島県内の高速道路附帯施設として設置されるもの
▼インターチェンジ
北、国見町
白河市、矢吹町、須賀川市、郡山市、二本松市、福島西、福島



- ▼サービスエリア
本宮町、国見町
- ▼パーキングエリア
白河市、鏡石町、郡山市、福島市松川、福島市吾妻
- ▼バスストップ
白河市2ヶ所、泉崎村、鏡石町、須賀川市、郡山市2ヶ所、本宮町、大玉村、二本松市、福島市3ヶ所、桑折町、国見町
- 6、我が国見町について
高速自動車道路
延長 七・二四キロ
用地面積 四〇町歩
サービスエリア 九町歩
用地面積 九町歩
インターチェンジ 四町歩
用地面積 四町歩
インターチェンジのなかにバス停留所が併設されます。
工事については
土工事の着工が昭和47年3月より昭和49年2月まで
舗装工事はその後行われます。
請負業者
国見町と桑折町境から大字山崎と石母田の字境間
株式会社 奥村組
大字石母田より福島宮城県境間
西松建設株式会社

高速自動車道路建設に伴う保安対策と交通安全対策

協議会の協議内容について

第1回 昭和47年4月14日

午後2時30分

国見町高速道路対策地権者委員会

説明者

日本道路公団福島工事事務所

請負業者 K K西松建設、K K奥村組

国見町役場

第2回 昭和47年4月19日

午後2時

高速道路貝田サービスエリア地権者会役員会

説明者

日本道路公団福島工事事務所

請負業者 K K西松建設、K K奥村組

国見町役場

第3回 昭和47年4月21日

午後3時

福島県福島建設事務所、保原土木事務所、桑折町警察署、国見町役場、桑折町役場

説明者

日本道路公団福島工事事務所

請負業者 K K西松建設、K K奥村組

第4回 昭和47年5月6日

午前10時

国見町交通安全対策協議会

高速道路通過関係部落長

説明者

日本道路公団福島工事事務所

請負業者 K K西松建設、K K奥村組

協議内容

(1) 高速道路建設工事に当り地域住民と常に融和を図りトラブルのないよう努めること。

(2) 工事中、県道及び町道通行する場合地域住民車を優先すること。特に狭い道路を使用する場合諒解を得て通行すること。

(3) 水路等(ヒューム管)施設する場合完全かんがいと農業用水使用期間中支障のないようにする。

(4) 一般道路及び耕作道分断の場合仮設道路を築造する。但し場合によっては実状に従い要望に応じて処理する。

(5) 山崎水道組合の水源地については事前に察知した場合速かに処理する。(特に公共施設設計協会で取上げ方向付をしておりません)

(6) 工事のため県道、町道を使用することによって学童通学の危険性についてはその対策につき学

校関係者交通対策協議会と協議の上処理する。

(7) 山間部の切取、切土にハッピー使用するとき絶対危険のないようにする。使用する場合事前に地区住民に通報する。

(8) 工費用資材等の置場所については予め土地所有者と相談の上処理する。

(9) 工費用危険区域には標識を表示し、保安対策に万全を期す。

(10) 請負業者の事務所及び作業員宿舎等の防火並びに作業員の防犯等には充分指導と監督をする。

(11) 高速道路用地外測量等で果樹畑に立入場合所有者の許可を受ける。

以上の件について協力が整っているが、今後工事に発生した問題についてはその都度協力を重ねることになっております。

工事施行にあたって

1、工費用道路について

工事施行のため主要資材及び副資材等の、運搬路として使用する道路については、日本道路公団と管理者、県道は県知事、町道は町長との間で協議調整を行います。只今協議中であります。

イ、道路使用期間中は維持補修を行います。補修の方法はグラダーで路面を維持し、必要に応じて砂利を散布する。ホコリの悪影響のある時は撒水車により防塵します。

ロ、高速道路用地内に工費用パイロット道路を築造する方針であるが河川を跨ぐ仮橋(コンクリート永久橋)を架けて土運搬するが、仮橋を架ける間町道を使用する。

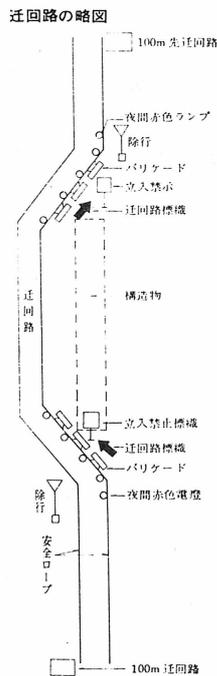
2、迂回路及び迂回路について

既設道路又は水路地点に造る構

造物の施工に先立ち道路又は水路の切替を行います。

切替道路については標識、看板を準備して不測の事故等おこさないよう万全の注意を払う。

迂回路については関係者と相談の上決めたい。



工事実施の手順について

(1) 基本測量完了後ただちに埋設横断構造物の築造にかかる。

構造物の築造は最初西松建設は石母田地区より着手し、貝田方向に進む。

奥村組は滝川橋を着手すると共にC-BOX-C-P10Rは通称馬場線附近より着手し順次桑折町方向へ施工する。

土工事については伐開除根着

造物の施工に先立ち道路又は水路の切替を行います。

切替道路については標識、看板を準備して不測の事故等おこさないよう万全の注意を払う。

迂回路については関係者と相談の上決めたい。

手と同時に掘削を行ない、パイロット道路の築造に取りかかる。

山間部は切取を行ない平担部に盛土として運搬する。

構造物は昭和48年4月迄築造を終了し橋梁(高架式)は昭和48年9月に完了する。

貝田方面の余刺土は公団指定の工費用道路を使用し指定土捨て場に運搬する。



東北新幹線蔵王トンネル石母田工区 工事が順調に進む

東北新幹線建設については全国新幹線鉄道整備法に基き施行命令が出て、去る昭和46年10月21日仙台新幹線工区より新幹線ルート発表があり、引続き11月4日二千五百分の一のルート詳細図が手渡されたので直に地域関係部落及びルート附近土地所有者に発表を行い、御協力を呼びかけた次第でございます。早速新幹線ルート予定土地所有者によって、国見町新幹線地権者会が設立結成され仙台新幹線工区と地権者会との間で測量立入については町の立会のもとで覚書を交換し了承されたものであります。

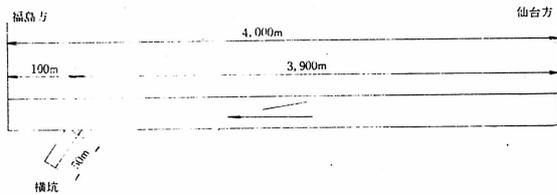
只今中心杭設置と縦横断測量も完了し公共施設の設計協議の集約中でございます。

一方東北新幹線ルートは国見町大字山崎字荒戸沢より地下方式のトンネルとなり宮城県白石市中芥川の間延長約一・二キロメートルのうち国見町分は四・七キロメートルとなっておりますが山崎より石母田字稗畑山間一・〇キロメートルは只今未着手でいるが今秋着工の予定です。

石母田工区について

新幹線ルート測量立入承認後、建設請負業者西松建設株式会社

工事概要	東北新幹線蔵王トンネル石母田工区その1工事
工事名	蔵王トンネル
工事場所	福島県伊達郡国見町石母田
工期	昭和46年12月1日～昭和48年9月30日
概要	新幹線複線型（底設導坑先進上部半断面逆巻工法）
石母田工区	4,000m（未契約含む）（蔵王トンネル $\ell=11,185m$ ）
地質	宮城県側 安山岩 福島県側 凝灰岩
横坑切合点付近	この付近は亀裂が多く、この内推積岩と安山岩の接触部分では破砕帯が生じて居る箇所も、数箇所もあるものと推定される。
本坑	堀さく断面 巻厚50cm 77.62 m ² （下水、通路含む） 70cm 82.43 m ²
勾配	勾配 3 / 1000（仙台方に向ってり）
横坑	$\ell=50m$ 堀さく断面16.72 m ² 勾配 3 / 1000



請負、石母田字稗畑山内より横坑六五米を堀削し、これを利用して本坑を堀削する計画を立て、坑外設備基地を設け、更に運搬道路を造り土砂運搬する計画のもとに昭和47年2月14日福島県宮城県のトップを切って、起工式を挙げる運びになったのであります。これ一重に土地関係者各位及び、地域住民各位の御理解と、御協力の賜と感謝申し上げる次第でございます。

岩層のため層体が弱く地表水をトンネル内に絶対誘水しない様日夜努力を重ねておりますトンネル掘削作業は10時間毎2交替の昼夜兼行で作業が進められており最新式機械を使って堀削されている。

工区用道路について

既設石母田硯石線は巾員四・〇米の処トンネル土砂運搬トラックが一日二〇〇台位往復するので、車輛交叉の問題もあるので二車線として拡巾し、地域住民の通行安全対策を図り万全を期するため、道路築造中であるので暫くの間御迷惑でありましようが、御協力願います。

互に交通ルールを守って事故をなくそう

- 車輛は徐行をして下さい。
- ※工事用車出入口の道路に **工事用トラック 出入口** の標識が300米先、200米先、100米先と標示します。標識をよくみましょう。
- ※危険区域には標識が立てられます。
- ※危険防止のため近寄らないで下さい。
- ※工事現場は子供の遊び場となりがちです。発見した時は注意してあげて下さい。
- ※目新しい大型機械が使用されます近寄ることはさけて下さい。
- ※山間部の切取にダイナマイトが使用される場合もあります。その際地域の方々に通報いたします。

- ※工事用車には請負業者名のわかるステッカーを貼ってあります。
- ※工事用車には **日本道路公団 国見工事用車** の標識板を取付てあります。
- ※工事用車は大型が通行します、充分注意して下さい。
- ※狭い道路での車輛の交叉は特に注意して下さい。
- ※工事用車及び一般車輛交通の頻繁な交差箇所には交通保安要員が配置されますからその指示に従って下さい。
- ※構造物工事中迂回路標示がなされます。夜間赤色ランプと安全ロープを張り誘導路としますので全ての